



半田プライド

半田醸芳小学校学校だより

令和5年 3月10日発行

No. 31 文責：五十嵐

「忘れない」「伝える」「備える」～東日本大震災から12年～

今日は「東日本大震災追悼集会」を実施し、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、12年前の震災について話をしました。震災から12年が経過し、小学校ではほぼ全員が震災を直接的に経験していない子ども達となりました。ますます風化が懸念される現状において、これからも震災を教訓として安心・安全な生活を送るためにも、「忘れないこと」「伝えること」「備えること」が大切であることを当時の自身の経験等を紹介しながら話をしました。また、みんなで力を合わせて未来に向かって復興を進めていかなければならないことも話しました。子ども達は真剣に話を聞いてくれました。

「のど元過ぎれば熱さを忘れる」ということわざがあります。時間が過ぎてしまったり、自分に関係のないことだったりすると、だんだんと記憶も薄れていき、何事もなかったように感じます。もちろん、いつも考えることはできませんが、明日、3月11日は当時のことをお子さんに話して聞かせたり、家族で避難方法を確認したりする、そんな一日にしていだければと思います。

もちろん、当時の記憶を思い出したくないという人もいらっしゃいます。そういう方々の思いにも配慮しながら、これからも福島県・東北・日本を担う子ども達に「3月11日東日本大震災」を伝えていきたいと思っています。

6年生へ感謝を込めて・・・～6年生送る会～



卒業式まで残り8日となりました。おそらく6年生は小学校生活が終わる寂しさと、これから始まる中学校生活への期待が入り交じった複雑な心境ではないかと思います。現在（いま）しか感じる事ができないその心の変化を大切に、自分自身の成長につなげて欲しいと思います。

3日には、これまで半田醸芳小学校をリードし導いてくれた6年生に感謝の気持ちを伝えるため「6年生送る会」を実施しました。5年生の代表児童が感謝の言葉を述べた後、全校生でゲームを楽しみました。活動中の6年生の穏やかな表情と、準備・運営・進行してくれた5年生の緊張感ある表情が印象的でした。

また、マーチングの引継ぎも行われ、リーダーとしてのバトンが引き継がれました。そして最後に、6年生が温かい励ましの言葉を贈ってくれました。また、お礼のダンスも披露してくれました。和やかで温かい「6年生を送る会」となりました。



【お知らせ】

○ 昨日、「卒業式における感染症対策」に係る文書を配付しました。卒業式も感染症対策をとりながら進めて参ります。なお、今後予定されている類型の変化等によりその対応も変わってくることが予想されます。保護者の方々へ文書やメール等でお知らせしながら対応していきたいと思っています。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。